

12月13日の本会議において、予算常任委員会に付託を受けました議案第70号から議案第74号までおよび、議案第82号から議案第86号までの10議案について、12月16日に開催しました委員会の審査結果を報告します。

主な質疑は次のとおりです。

議案第70号令和6年度湖南省市一般会計補正予算（第5号）について、人事異動等による増減調整および育休等による人件費減額についての質疑に対して、現在、正職で育休取得者が27名あり、復帰期日未確定や人事異動等により昨年度末の退職者が多くあったための減額ですとの答弁でした。

庁舎整備計画検討委員の報酬及び費用弁償についての質疑に対して、庁舎整備計画検討委員会を1回追加で開催するため、委員6名の報酬を追加し、合わせて、委員A氏が彦根市から、委員B氏が大津市から参加のため、往復の交通費を計上していますとの答弁でした。

市有財産維持管理経費についての質疑に対して、地元区要望により夏見地先の墓地を集約し、残った土地を民間に売却するため、旧慣使用权の補償料を計上していますとの答弁でした。

地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金の交付を受ける事業者と内容はどの質疑に対して、「グループホーム三雲」の避難経路増設の耐震工事と「老人ホームみやのもり」の非常用発電システムの導入工事ですとの答弁でした。

市内医療機関への患者送迎、この補助金の内容と医療機関とは、質疑に対して、物価高騰対策支援として車両1台につき2万円を支給。生田病院とこうせい駅前診療所ですとの答弁でした。

一般単独事業債の廃止理由についての質疑に対して、甲西文化ホールと社会体育施設のトイレ改修において、予算編成段階では、「公共施設等適正管理推進事業にかかるユニバーサルデザイン化」という地方債と一般単独事業債の2つを充てる計画でしたが、起債の協議を進める中で事業費すべてを「ユニバーサルデザイン化」で賄えることになり、起債充当率の少ない一般単独事業債を廃止しましたとの答弁でした。

家庭児童相談システムについて、各子ども家庭総合センターへの導入対応経費が不要となったことについての質疑に対して、新たなシステム導入に際し、費用がかかると予算計上していたが、アカウントの使用料だけで対応できたため、減額補正をしましたとの答弁でした。

急傾斜地の法面崩壊対策についての国・県事業メニューとの検討結果についての質疑に対して、柑子袋城山地先の土砂災害特別警戒区域にある民地で、受益地の戸数が10戸以上あれば、滋賀県が災害対策を実施することとなっていますが、今回の場合、戸数が足りず、本市が事業主体で対応しましたとの答弁でした。

また、その緊急自然災害防止対策事業債の事業の充当率と交付税措置についての質疑に対して、事業債の充当率は100%で、元利償還金に対する交付税措置率は70%ですとの答弁でした。

一般コミュニティ（宝くじ）助成金で3団体が採択されなかった理由はどの質疑に対して、採択されなかったのではなく、国・県での枠が決まっており、湖南市からは2団体のみでありましたとの答弁でした。

笹ヶ谷霊園管理基金積立の現在の基金残高と繰り出しの最近の状況についての質疑に対して、令和6年3月末現在で基金残高は9,600万1,864円で、令和6年度当初予算の基金からの繰り入れは、361万4,000円をえていますとの答弁でした。

議案第72号令和6年度湖南市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第4号）について、消費税申告漏れの件で、税務署側との協議についての質疑に対して、法的な範囲で過去5年にさかのぼりますので令和元年からですが、申告期限は基本3月末です。令和5年度分については、納入期限が9月30日までであったため、282万8,200円をすでに納入済みです。滞納分については、専決で1,566万3,200円を納付し、その結果を受けて税務署から、1月末までの支払いとなりますが、延滞税と無申告加算税の請求が届いていますとの答弁でした。

議案第82号令和6年度湖南市一般会計補正予算（第6号）について、湖南中央消防署建替事業について用地取得費用が計上されているがこれで確定かとの質疑に対して、用地取得費用は7,161万円を計上しており、補償算定業務委託の344万3,000円については、その土地に農機具倉庫と看板が5枚あり、これの移転に伴う補償費ですとの答弁でした。

議案第71号令和6年度湖南市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）、議案第73号令和6年度湖南市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）、議案第74号令和6年度湖南市介護保険特別会計補正予算（第2号）、議案第83号令和6年度湖南市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）、議案第84号令和6年度湖南市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第5号）、議案第85号令和6年度湖南市介護保険特別会計補正予算（第3号）、および議案第86号令和6年度下水道事業会計補正予算（第1号）について質疑はありませんでした。

以上が質疑の概要であります。その後、各議案に対して討論はなく、採決を行いました。その結果、議案第70号から議案第74号まで、および、議案第82号から議案第86号までの10議案について、いずれも全員賛成で可決すべきも

のと決定しました。